

取扱説明書

ミドリグリーンXtra

Cat.No.	概要	包装単位
NE-MG10	Midori Green Xtra	1 mL

ミドリグリーンXtraは、エチジウムブロマイド (EtBr) に替わる安全なDNA蛍光染色試薬です。

【特長】

- ・青色LEDや **BGLED**※イルミネーターでの検出に最適です。
- ・EtBrと比較してより安全なアガロース電気泳動用核酸染色用試薬です。
- ・EtBrと検出感度は、ほぼ同等で操作も同様です。
- ・DNAやRNAと結合し、緑色の蛍光を発します。
- ・励起波長：482 nm付近と～250 nm付近に2つのピークがあります。
- ・蛍光波長：～509 nmです。
- ・先染め、後染めどちらも可能です。
- ・当社独自の **BGLED**イルミネーター、ゲルドキュメンテーションシステムによって、最高のシグナルが実現します。

※ **BGLED**

弊社がお奨めするBlueGreenLED
(波長500 nm) のイルミネーターです。

【保存条件】

4℃ (必ず遮光保存してください)

【使用期限】

製品ラベルに記載の期限まで

【安全性】

ミドリグリーンXtraは、非発癌性です。エームス試験の結果、EtBrよりも圧倒的に低い変異原性を示しました。

【使用方法】

● 先染めの場合

- ① アガロースゲル溶液を任意の方法で作製してください。(オートクレーブ、電子レンジ等を使用)
- ② ゲルの温度が50～60℃に冷めたら、ゲル100 mLに対してミドリグリーンXtra 4-8 μLを添加し、混合してください。
- ③ ゲルをゲル作製用トレーに流し込んでください。
- ④ ゲルが十分に固まったことを確認してから電気泳動してください。
- ⑤ 泳動結果は、青色LEDまたは **BGLED**イルミネーターで検出してください。
(UVイルミネーターでも検出は可能ですが、本来の性能が発揮されません。)

● 後染めの場合

- ① 電気泳動用バッファー 100mLに対してミドリグリーンXtra 10 μLを添加 (10,000倍希釈)、混合し染色用溶液を作製してください。(作製した染色溶液は2～3回使用可能です。保管する場合は冷暗所で遮光し、1週間程度を目安としてください。)
- ② 電気泳動後のゲルを①で作製した溶液に浸し、10～30分間ゆっくり振盪してください。
- ③ 泳動結果は、青色LEDまたは **BGLED**イルミネーターで検出してください。
(UVイルミネーターでも検出は可能ですが、本来の性能が発揮されません。)

【注意】

- ・一般的な試薬の取扱いと同様に、取扱いは十分ご注意ください。操作時には、グローブをご着用ください。使用後は、各施設の基準に従って廃棄してください。
- ・ミドリグリーンXtraは、電気泳動でのDNAバンドの確認を目的として開発されましたため、DNAを定量する目的に関しては、検証されておりません。